

参加費
無料

多文化共生 シンポジウム



現在、熊本ではTSMC進出もあり、大きな変化の時代を迎えています。在住外国人数も2024年11月末現在で10,576人と過去最高を記録しました。地域住民と外国人住民が共存・共生し、全ての住民が活躍できる「多文化共生の地域づくり」を考えるシンポジウムを開催します。

日時

2025年2月15日（土）午後2時～4時

場所

熊本市国際交流会館7階ホール

定員

180名

1部 基調講演：午後2時～午後3時



基調講演：「10年後の地域の姿～「共存」から「共生」へ

基調講演者：岡崎 広樹 氏 元芝園団地自治会事務局長

外国人住民が世帯数の半数以上を占める川口市UR芝園団地で自治会事務局長として、団地内で起こる文化背景の違いや生活習慣の違いからくる問題を外国人住民、日本人住民と一緒に解決し、団地内の多文化共存・共生に取り組んだ経験をお話いただきます。

【基調講演者プロフィール】

1981年埼玉県上尾市生まれ。2014年、埼玉県川口市にあるUR芝園団地で住み始め2023年まで自治会事務局長として、高齢者の日本人と若者の外国人の関係づくりに取り組んだ。芝園団地自治会は、2017年度国際交流基金「地球市民賞」などを受賞。個人として、2018年日本青年会議所「人間力大賞 総務大臣奨励賞」を受賞。著書に「外国人集住団地—日本人高齢者と外国人の若者の“ゆるやかな共生”」（扶桑社新書）、「団地と共生—芝園団地自治会事務局長 二〇〇〇日の記録」（論創社）。

2部 パネルディスカッション：午後3時10分～午後4時

外国人住民と地域住民が共に共存・共生し、全ての住民が活躍できる「多様な人たちが支え合う多文化共生の地域づくり」を考えるパネルディスカッションを開催します。

【申込・お問合せ】 一般財団法人熊本市国際交流振興事業団



096-359-2121

QRコードからも申込できます。⇒



pj-info@kumamoto-if.or.jp

